

問 観光振興は前進したか

答 ゴールの見えない究極の課題



津滝俊幸 議員

実行のための財源は。

問 観光財源検討委員会にて、観光振興のための財源確保の在り方について調査・審議している。

推進体制は。

問 世界水準の山岳リゾートとは。

答 昔からこの山と雪の環境下で育まれた生活・文化の魅力を活用して発展してきた財産に磨きをかけ、世界から訪れる人にとつての、居心地の良さを提供できる観光地としたい。

問 実現するための施策は。

答 県の重点支援地域の指定により、三市村エリア周遊・長期滞在プランの作成し、プランディングやアウトドアレジャーの磨き上げなど観光地の底上げを含め、観光地経営計画にある4つの基本方針及び10の戦略23の施策に取り組んでいく。

【農業政策】

優良農地の確保と新しい農業の進展は。

問 ふるさと納税返礼品へ白馬米を使用。出荷品質の基準を定め、安心安全な白馬の米のブランド向上を行っている。

答 優良農地の確保では、北城南部新田地区において、ほ場整備事業を推進し、将来へ白馬の美しい田園風景を残すことに努めている。

問 神城地区の農業用水の枯渇問題の改善策は。

答 必要な水が確保出来ない事は承知している。昨年度、同地区の水量調査を実施し対策を検討した。姫川からの取水量を増量することが理想であるが、水利権により難しい情勢。老朽化した揚水ポンプの交換、効率の良い配水設備など土地改良区とともに売電収入の活用も含め計画的に改善していく。

問 多面的機能支払交付金制度の活用状況と今後の方針は。

答 取組は14組織。耕作面積557ha内、取組面積404ha。カバー率72.5%。農地を守り将来へ繋げていくための有効な制度。事務や作業など課

題はあるがカバー率100%を目指していく。

問 行政組織の活性化は前進したか

答 人材育成と住民サービスに重点をおく

【行政組織の活性化】

人材育成は。

問 人材育成基本方針を全面的に見直し、目指すべき職員像を提案させ、それに伴う資質と行動を考えさせる意識づけをしている。また、人事交流や各種研修への参加、高い意欲と専門性を備えた人材の育成にも取り組んでいる。

問 住民の声を活かすシステムづくりは。

答 集落支援員の増員により3名体制とし、地区作業の支援、事務の補助など地区に向く活動から課題共有解決に取り組んでいる。



渇水した谷地川と姫川

注1：官民など幅広い連携によって地域観光を積極的に推進する法人組織。地域が一体となって市場調査や情報発信、収益事業などを展開する。
注2：重要業績評価指標。組織の目標達成の度合いを定義する補助となる計量基準

問 農業振興は前進したか

答 ほ場整備による優良農地の確保へ